

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要				
事業開始年度	H17.3.22~		根拠法令・例規等	休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金交付要綱、水質汚濁防止法
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室) 環境課 合 職・氏名 保係係長・久保山仁也 電 話 64-1822 このシート作成に要した時間 4.0 時間
	中項目 基本施策	02	自然と共生するまちづくり	
	小項目 施策	01	環境保全	
事務事業名	02 休廃止鉱山鉱害防止事業			

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水を利用する吉永地域及び三石地区の市民・事業者	
目的(何のために)	鉱害防止を目的として農作物への被害防止や生活環境の保全を図るため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水質を保全し環境基準を達成する。	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	坑廃水処理事業	板屋・金谷・野谷の坑廃水処理場で中和処理を行い、河川の水質保全を図る。	◎

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	直接事業費	千円	78,300	53,122	76,950
	必要人員費	千円	4.40人	23,041	29,584
	事業費計	千円	101,341	82,706	112,640
決算財源	国	千円	83,434	56,964	71,298
	県	千円	404	819	757
	支	千円			
	出	千円	4,400		
	金	千円			
受	益	千円	13,103	24,923	40,585
	者	千円			
	負	千円			
担	比率	%	0.4%	1.0%	0.7%

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	坑廃水処理水量	m	183,765	164,912	261,266
	対前年比	%	-	89.7%	158.4%
	活動コスト	円	101,341,387	82,706,240	112,640,305
単位当たりコスト			551	502	431

事業の成果						
環境基準内達成率	成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
	目標値(A)		1	1	1	1
	実績値(B)		0.986	0.972	0.972	到達目標値
達成率(B/A)		98.60%	97.20%	97.20%		
成果指標設定の考え方・式や説明						
3処理場において、坑廃水を安定した中和処理を行い、環境基準を超過することのないように事業を実施する。(月1回処理場の処理水を採水し、鉄、浮遊物質、鉛、ヒ素を分析している)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← □ コピーして「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	各処理場の設備は新しい施設でも建設から十数年経過し、老朽化が進んでおり、修繕・改修の必要性がある。平成23年10月から野谷坑廃水処理施設の管理を直営にし、大幅な経費削減を図る。						

総合評価		総合評価
懸案事項であった、坑廃水処理施設の維持管理を直営管理に移行を行った。23年度以降委託料のコスト削減が図れる。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	常に安定した坑廃水の中和処理を実施できているが、この処理は半永久的にしなければならず、施設の更新、修繕を計画的に実施し、各河川の水質を保持する。						

事業の意図する成果とつながら成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する際の留意点